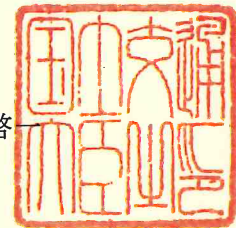


認定書

国住指第 3635 号
平成 31 年 3 月 5 日

株式会社アイ・テック
代表取締役社長 大畑 大輔 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号（床：各 1 時間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP060FL-0184
2. 認定をした構造方法等の名称
コンクリート・デッキプレート造床
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：
コンクリート・デッキプレート造床

2. 仕様の寸法：
仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
床厚さ	130mm以上
支持部材間隔	・ 2000mm (積載荷重11980N/m ² 以下 (自重を含めた全荷重14580N/m ² 以下)) ・ 2000～2700mm (自重を含めた全荷重×支持部材間隔の2乗=58320N以下) ※支持部材間隔と荷重の関係を表4に示す。
支持方法	単純支持又は連続支持

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様
デッキプレート	材料：デッキプレート (JIS G 3352) 材質：①～⑤の一 ①SDP1T ②SDP1TG ③SDP2 ④SDP2G ⑤SDP3 厚さ：1.2 (+0.1, -0.06) ～1.6 (+0.1, -0.08) mm 山高さ：50 (±1.5) mm 働き幅：600 (+8, -2) mm
コンクリート	材料：レディーミクストコンクリート (JIS A 5308) 種類：普通コンクリート 呼び強度：18～36 厚さ：デッキプレート山上から80mm以上

4. 仕様の副構成材料：
仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

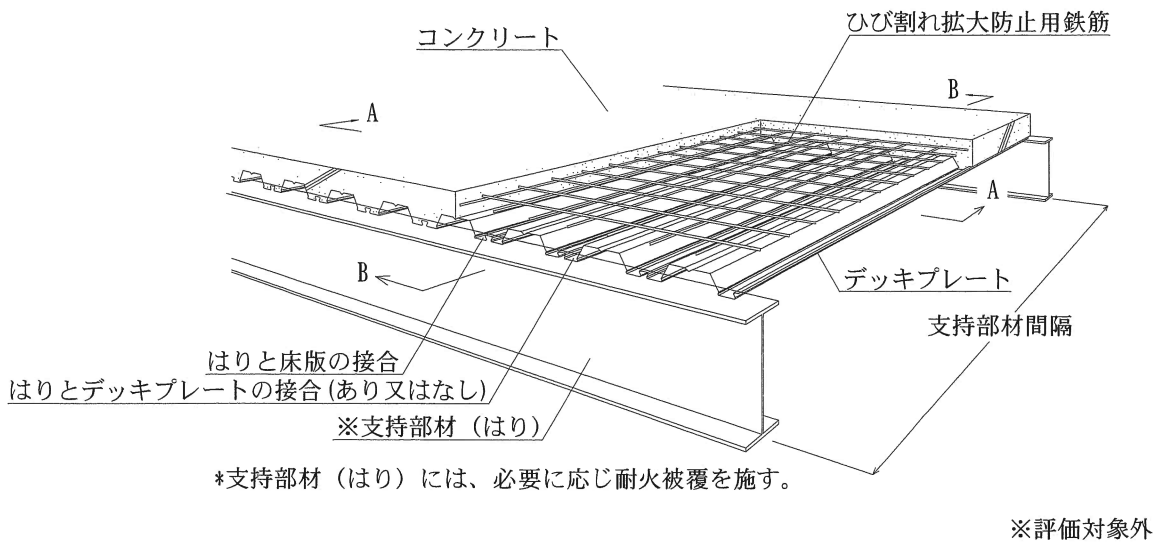
項目	仕様
ひび割れ拡大防止用鉄筋	材料：①又は② ①溶接金網 (JIS G 3551) 種類：1)～4)の一 1) WFP 2) WFC 3) WFR 4) WFI 線径：φ6mm以上 かぶり厚さ：床上面から30mm 間隔：150×150mm以下 ②鉄筋 (異形棒鋼、JIS G 3112又はJIS G 3117) 寸法：D10以上 間隔：200×200mm以下 かぶり厚さ：床上面から30mm
スペーサー	材料：①又は② ①鉄線 線径：規定のかぶり厚さが確保でき、施工時に変形等しない線径以上 間隔： 2000mm ≤ 支持部材間隔 < 2700mm 1000mm以下 支持部材間隔 = 2700mm 1200mm以下 ②セメントブロック 寸法：規定のかぶり厚さが確保できる断面寸法以上 間隔： 2000mm ≤ 支持部材間隔 < 2700mm 1000mm以下 支持部材間隔 = 2700mm 1200mm以下
はりと床版の接合	材料：①、②又は③ ①打込み鉋 (国土交通大臣認定指定建築材料：MPIN-0003) 寸法：φ4.5mm以上 間隔：300mm以下 ②頭付きスタッド (JIS B 1198) 寸法：φ13mm以上 間隔：600mm以下 ③焼抜き栓溶接 寸法：溶接径φ18mm以上 間隔：300mm以下
はりとデッキプレートとの接合	仕様：あり又はなし 材料：溶接

5. 仕様の構造説明図：
仕様の構造説明図を図1～図4に示す。

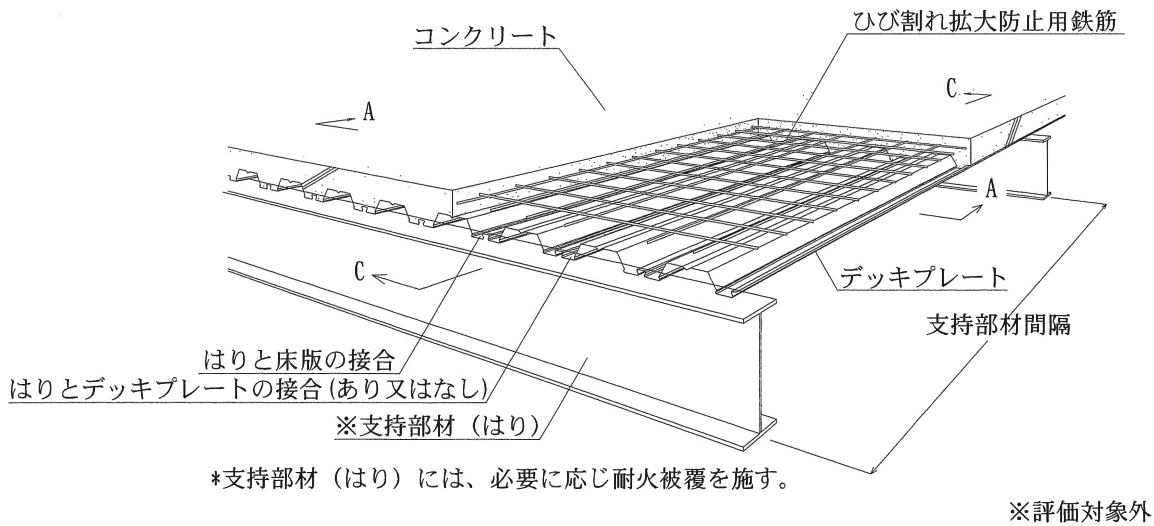
表4 支持部材間隔と荷重の関係

支持部材間隔 (mm)	全荷重 (N/m ²)	自重 (N/m ²)	積載荷重 (N/m ²)
2000	14580	2600	11980
2100	13224		—
2200	12050		—
2300	11025		—
2400	10125		—
2500	9331		—
2600	8627		—
2700	8000		5400

※積載荷重＝全荷重－自重



単純支持仕様 (デッキプレートが隣接スパンに跨らない場合)
透視図



連続支持仕様 (デッキプレートが隣接するスパンに跨る場合)
透視図

図1 構造説明図

単位mm

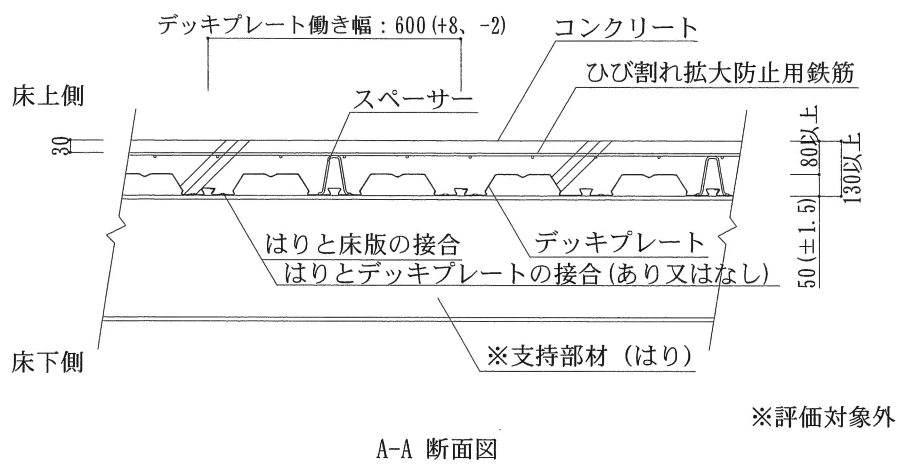


図2 構造説明図

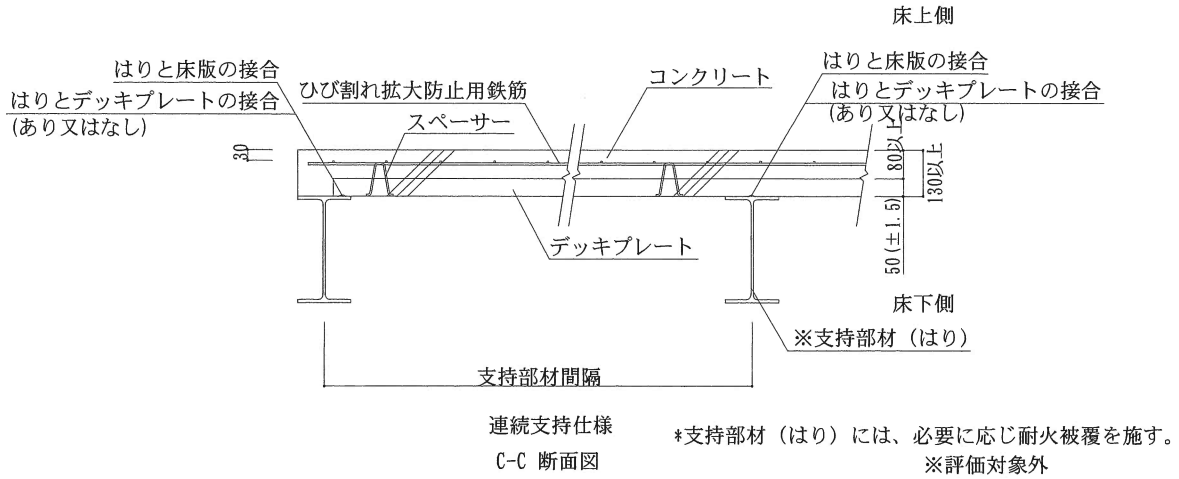
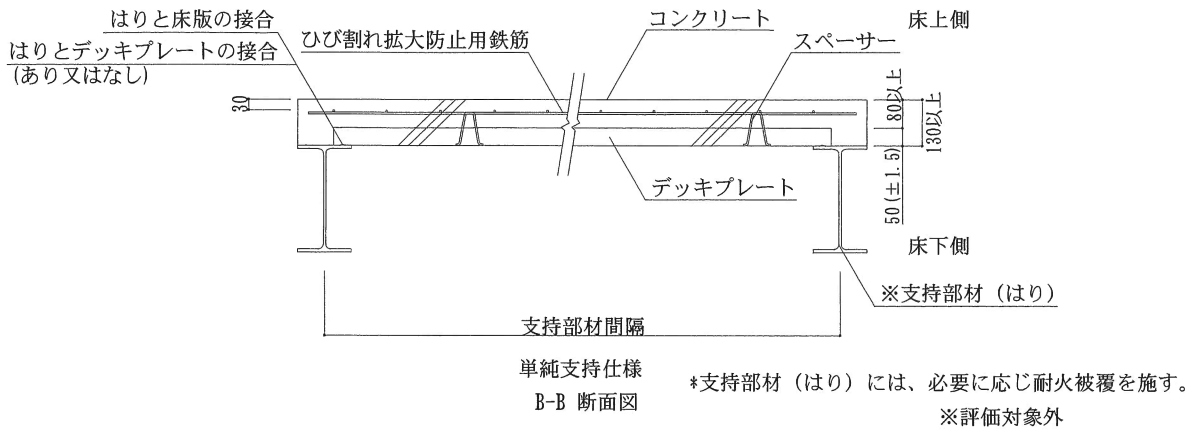
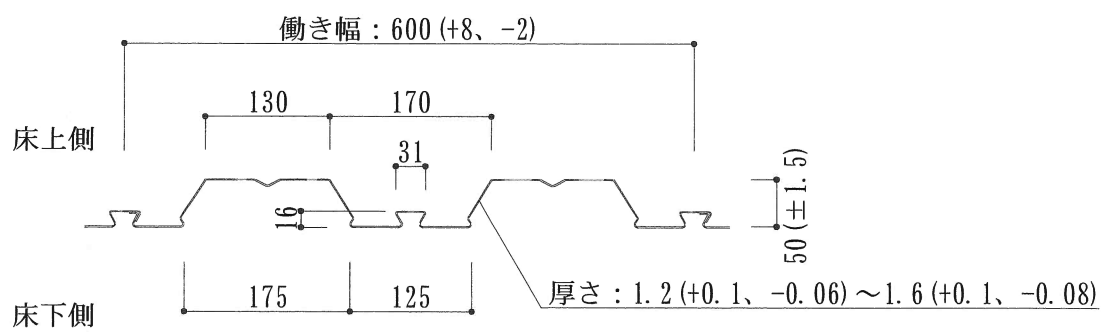


図3 構造説明図

単位mm



デッキプレート形状図

図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

＜施工手順＞

- 1) デッキプレートの敷込み
デッキプレートを墨出し線に合わせてはりに配置し、デッキプレートをはりに溶接等で仮止めする。
- 2) はりと床版との接合
床版（合成スラブ）と鉄骨はりとは、打込み鋸、焼抜き栓溶接又は頭付スタッドで結合する。頭付スタッドを用いる場合は、頭付スタッドの施工前に、デッキプレートとはりを隅肉溶接あるいはアークスポット溶接等で接合する。接合方法は、平成14年国土交通省告示第326号の規定及び「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」（日本建築学会）もしくは「各種合成構造設計指針・同解説」（日本建築学会）によるものとする。
- 3) ひび割れ拡大防止用鉄筋の設置
コンクリートのひび割れ拡大防止のため、溶接金網又は異形鉄筋を設置する。スラブ上面から30mmのかぶり厚さを確保できるように、スペーサー等を使用して設置する。スペーサーの材料は、施工時に変形等しない線径又はセメントブロックを用いる。配筋の詳細は「JASS5 鉄筋コンクリート工事」（日本建築学会）に準じるものとする。但し、構造評定や性能証明を取得した工法等による場合はそれらの仕様による。
- 4) コンクリート打設
ひび割れ拡大防止用鉄筋が移動しないよう注意しながらコンクリートを不陸なく打設する。コンクリートの施工については、「JASS5 鉄筋コンクリート工事」（日本建築学会）に準拠する。
- 5) 仕上げ
コンクリートの表面を金ゴテ等を用いて仕上げを施す。
- 6) 養生
施工後の養生は、「JASS5 鉄筋コンクリート工事」（日本建築学会）に準拠する。

アイ・テック Sデッキ：1時間耐火仕様 (耐火補強筋不要)

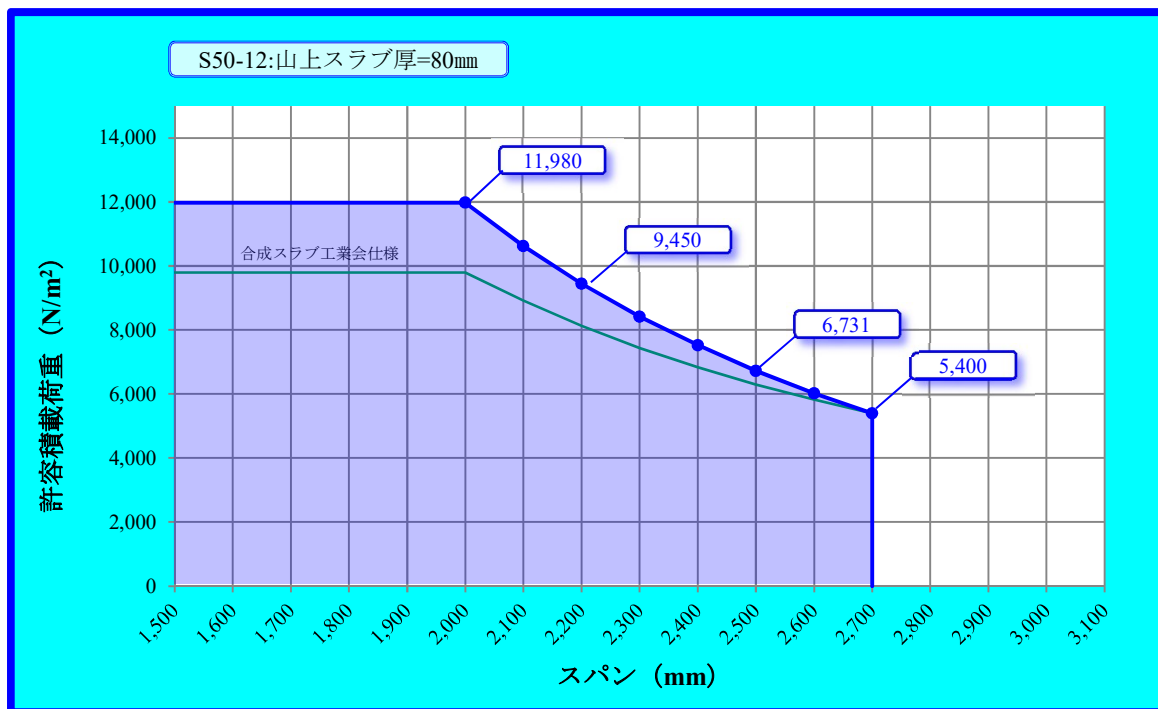
認定番号:FP060FL-0184

S50-12,16 SDP1T,SDP1TG,SDP2,SDP2G

普通コンクリート(呼び強度=18~45N/mm²)

溶接金網:φ6-150*150

固定方法:頭付スタッド, 焼抜き栓溶接, 打込み鋸



デッキ種類		S50-12			S50-16		
山上スラブ厚 (mm)		80	90	100	80	90	100
認定自重 (DL)		2,600	2,840	3,180	2,640	2,880	3,220
スパン L (mm)	2,000	11,980	11,740	11,400	11,940	11,700	11,360
	2,100	10,624	10,384	10,044	10,584	10,344	10,004
	2,200	9,450	9,210	8,870	9,410	9,170	8,830
	2,300	8,425	8,185	7,845	8,385	8,145	7,805
	2,400	7,525	7,285	6,945	7,485	7,245	6,905
	2,500	6,731	6,491	6,151	6,691	6,451	6,111
	2,600	6,027	5,787	5,447	5,987	5,747	5,407
	2,700	5,400	5,160	4,820	5,360	5,120	4,780

※許容積載荷重 = $8,000 * (2.7/L)^2 - DL$ (単位: N/m²)

※呼び強度=設計基準強度 (Fc) + 構造体強度補正值